２．重要な工事請負契約　（単位：千円）

件　名	契約額	うち翌期以降支払額
東海国立大学機構（東山）ＬＹＫＥＩＯＮ研究棟（仮称）新営その他工事	4,471,827	2,888,738
東海国立大学機構（東山）ＬＹＫＥＩＯＮ研究棟（仮称）新営機械設備工事	1,593,587	1,477,383
東海国立大学機構（東山）ＬＹＫＥＩＯＮ研究棟（仮称）新営電気設備工事	1,036,541	1,036,541
名古屋大学（東郷）総合研究棟（農学系）新営その他工事	429,000	365,750

３．重要な物品供給契約　（単位：千円）

件　名	契約額	うち翌期以降支払額
病院総合情報システム　一式	5,095,398	4,185,505
手術棟医療機器及び保守費用　一式	1,189,861	713,916
放射線治療システム　一式	538,164	345,321
遠隔操作型内視鏡下手術システム　一式	405,543	405,543
遠隔操作型内視鏡下手術システム　一式	393,873	126,602
キャンパス情報ネットワークシステム　一式	330,880	330,880
Ｘ線ＣＴ組合せ型陽電子放射断層撮影装置　一式	328,495	202,572
教育・研究用先端計算機システム　一式	316,800	253,440
コンピュータ診断撮影装置　一式	310,252	224,933

Ｘ．減損会計関係

１．減損を認識した固定資産

①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用　途	種　類	場　所	帳簿価額
職員宿舎	建物	杁中住宅（愛知県名古屋市昭和区川名山町128番地４）	5,673

②　減損の認識に至った経緯

杁中住宅については、築年数が50年を超えており、老朽化し耐震性等に問題のあるものは、建替等は行わず廃止することが役員会にて決定がされており、令和７年３月31日に廃止された建物等について使用見込がないため、減損を認識しました。

③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

（単位：千円）

場　所	種　類	減損額	うち損益計算書に計上した金額	うち損益計算書に計上していない金額
杁中住宅	建物	5,673	1,194	4,478

④　減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合の当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由

杁中住宅については、当該建物とこれに附属する設備は一体となってそのサービスを提供するため、これらを一体として判定しております。

⑤　回収可能サービス価額の算定方法

杁中住宅の建物の回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しております。

２．減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

（単位：千円）

用　途	種　類	場　所	帳簿価額
課外活動施設	建物	プール更衣室（愛知県名古屋市千種区不老町）	2,870
福利厚生施設	建物	正木宿舎（岐阜県岐阜市正木1980番地５）	10,471
研究施設	建物	ＲＩ研究棟（岐阜県岐阜市柳戸１番１）	25,827
教育研究施設	建物	旧早野邸セミナーハウス（岐阜県大垣市昼飯町字村北1775番１外）	8,441
福利厚生施設	建物	六本松住宅２号棟（岐阜県岐阜市大字長良字六本松3091番１）	52,006
福利厚生施設	建物	六本松住宅３号棟（岐阜県岐阜市大字長良字六本松3091番１）	76,401

②　認められた減損の兆候の概要

プール更衣室、正木宿舎、ＲＩ研究棟、旧早野邸セミナーハウス、六本松住宅２号棟及び３号棟については、稼働率の著しい低下が見られます。

③　減損を認識するに至らなかった根拠

プール更衣室、正木宿舎、ＲＩ研究棟、旧早野邸セミナーハウス、六本松住宅２号棟及び３号棟については、将来の使用の見込みがあるため、減損を認識しておりません。

３．翌事業年度以降の特定の日以後使用しないという決定をした固定資産

①　使用しないという決定を行った固定資産の用途、種類、場所等の概要

用　途	種　類	場　所
職員宿舎	建物	陶生町宿舎（愛知県名古屋市昭和区陶生町２丁目15番地）
職員宿舎	建物	平針住宅（愛知県名古屋市天白区天白町大字平針字黒石2878番地1302）